

ことばで遠くへ飛ぶ

## 「リンゴの教室」(計4回)

日時 7月毎週水曜日 午前10時～正午

会場と申込先 船川北公民館小会議室

(TEL 0185-24-3140)

学費(資料代込) 1回500円(4回千500円)

定員 10人

問合せ先

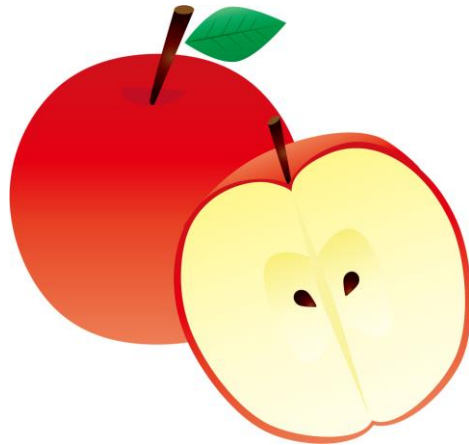
〒010-0671

男鹿市戸賀加茂青砂字鴨16

土井敏秀

Fax 0185-37-2580

Email [doikamo@js6.so-net.ne.jp](mailto:doikamo@js6.so-net.ne.jp)



「リンゴの教室」は、ことばで別の世界へ旅します。今の自分を離れる練習です。たのしく遊びましょう。その世界から自分に戻ったとき、これまでと違った自分に、なっているかもしれない。「自分の物語」を書くチャンスです。小学生から大人までが対象です。数人から10人ぐらい集まるのでしたら、どこでも「出前教室」を開きます。

講師は男鹿市・加茂青砂在住の土井敏秀と言います。早稲田大学第一文学部卒業後、仙台に本社があり東北全体に新聞を発行している河北新報社に24年間、新聞記者として勤めました。48歳で退社。妻と2人で加茂青砂集落に移住しました。もう20年になります。「絵本・男鹿のなまはげ」を出版(今も販売中)し、毎日新聞秋田版に月1回のコラムを15年以上続けているほか、同紙に「東南アジア旅行記」も連載しました。教室を開くのは初めてで、もちろん不安いっぱいですが、参加してくれる皆さんと一緒に、育っていきたいです。よろしくお願ひします。

### この教室の進め方

自分が書いた作品は自分で読み上げます。それを聞いて、互いに感想を述べ合います。好きなように書いてください。そもそも、正しい書き方なんてありませんから。

#### 初回

「リンゴを見たことも、食べたこともない人に(宇宙人でも構いません)、リンゴの魅力を伝える手紙を書く」を書いてきてください(※教室名はこの「リンゴ」に由来します)。とりあえず、初回は400字詰め原稿用紙1枚ぐらいにしましょうか。教室では、その手紙を読み上げた後、みなさん同士で交換。受け取った側になりきって、返事を書きます。

#### 2回目

返事を読み上げて、その手紙2通を合わせると、「リンゴ」がどんなふうに見えたかが分かります。何種類のリンゴができるか、楽しみです。みんな感想を述べ合ひましょう。宿題は「ほかの生き物になりきる。人間以外の生き物が(植物でもいいです、宇宙人でもいいです)人間をどう感じ、どう見ているか」です。想像を膨らませて思い描いてください。行数自由。

#### 3回目

2回目の宿題を読み上げます。書いた人ひとりひとりが、何になりきったのか。それはなぜ? を入れて、話してもらいます。

#### 4回目

3回目まではできるだけ自分から離れる練習です。自分の物語を書くためには、必要なことだと考えたからです。さあ自由に書きましょう。これまでのこと、これからのこと、こうなりたかったこと、フィクションを交えても、全部フィクションでもかまわないです。